

『愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護実習テキスト第3版』（第1～2刷）訂正とお詫び

掲載記事中、以下の記述に誤りがございました。ここに訂正させていただくとともに読者の皆様および関係者の方々に深くお詫び申し上げます。

株式会社 EDUWARD Press
2023年10月25日作成

頁	記事タイトル	該当箇所	誤	正
p. 42	第1章 動物形態機能 学実習	上から12 -13行目	アルコール（油浸レンズの場合 はキシレン）を少量しみこ ませて拭く。	アルコールを少量しみこませて 拭く（油浸レンズの清掃は専用 の洗浄液を使用する）。
p. 124	第2章「2」 X線撮影の方 向とポジショ ニング」の図	AP と PA の矢印と 表記	AP PA	CrCd（頭尾側） CdCr（尾頭側） ※下記修正後の図をご覧ください。
p. 124	第2章「正しい ポジショニ ング」の囲み	④AP と⑤ PA	④ AP (antero posterior) ・前方から後方へX線が透 過 ⑤ PA (postero anterior) ・後方から前方へX線が透 過	④ CrCd (cranial caudal) ・頭側から尾側へX線が透 過 ⑤ CdCr (caudal cranial) ・尾側から頭側へX線が透 過 注) 頭側 (Cranial) 尾側 (Caudal)
p. 166	第3章 動物臨床検査 学実習	表3-2-1 下から 6行目と 2行目	分葉核好中 (Sag-N) 好塩基球 (Bos)	分葉核好中 (Seg-N) 好塩基球 (Bas)

図

